

LME銅相場のトレンドは「ベア」か

為替は円高の予測―第85回COMC声明

第85回 六月のCOMC声明

- ① 電気銅建値予測 六五〇〇～六九〇円
- ② 銅相場のトレンド ベア
- ③ LME銅セツル予測 五、六〇〇〇～六、〇〇〇ドル
- ④ 為替トレンド予測 円高
- ⑤ ドル円予測(TTM) 一〇六・五〇～一一〇円
- ⑥ スクラップ景況感

相場急落により、品物の出は悪くなっていく。底値確認が出来ない限り開店休業。新たに中国向け六類の規制？ 真鍮系はますます不人気に。

【概況】

今回のCOMCにおいては

- A 米中貿易戦争
- B 円高

以上の意見が非常によく聞かれた。

中国でリチウム鉱処理施設建設検討

オーストラリア資源会社ギャラクシー

オーストラリアの資源会社ギャラクシー・リソースは、中国でリチウム鉱の処理施設の建設を検討している。豪経済紙オーストラリアン・フィナンシャル・レビューが二十九日報じた。ギャラクシーは西オーストラリア州で手掛けるマウント・キャトリン事業でリチウムを含んだリシア輝石を生産している。

弁で、年間二万五、〇〇〇トンの炭酸リチウムもしくは水酸化リチウムを生産する規模の施設を検討している。ギャラクシーは四割を出資して、五、〇〇〇万～六、〇〇〇万米ドルを負担することを想定している。リチウムは電気自動車(EV)に搭載する電池などに利用される。同会長は、下落していたリチウム相場に回復の兆しが見られると述べた。

宝武鋼鉄集団と馬鋼集団が経営統合へ 現地メディア報道

米中对立長期化に備える狙いも

中国メディアが三日報じたところによると、同国鉄鋼最大手で世界二位の宝武鋼鉄集団(上海市)と、国有同業の馬鋼集団(安徽省)はこのほど、経営統合の方針を決めた。中国では対米貿易摩擦が激化する中、新車販売が大きく落ち込むなど鉄鋼需要の先行きに不安が高まっており、対立長期化に備えて業界の足場を固める狙いもありそうだ。

統合に際しては、安徽省政府が馬鋼株の五一%を宝武に無償譲渡する。二〇一八年の粗鋼生産能力は宝鋼が約七、〇〇〇万トン、馬鋼は約二、〇〇〇万トン。合併後は約九、〇〇〇万トンと、世界首位の欧州アルセロー

ル・ミタル(約一億二〇〇〇万トン)に迫る。中国では鉄鋼の過剰生産能力の問題が深刻化。当局は国有大手を中心にした業界再編に取り組んできた。また、国有企業を「より強く、優秀に、大きくする」(習近平国家主席)方針も打ち出しており、今回の経営統合もこうした政策方針に沿った動きとみられる。宝武集団は一六年、国有大手の宝鋼集団(上海市)と武漢鋼鉄集団(湖北省)が経営統合して誕生した。宝武は先に公表した経営計画で、粗鋼生産能力を二一年までに八、〇〇〇万～一億トンに引き上げる目標を打ち出している。

Aに関しては、承知の通り 報復合戦が続いており、先が見えない状況。六月末の日本で行われるG20の前までは、自国の優位性を高めるために挑発的なコメントが続くのでは？
Bに関しては、米中貿易戦争や英離脱問題からかなり円高が進む。これらを踏まえ、当委員会としては、「ベア」の予想。

【議長】

橋本健一郎(橋本アルミ)

【委員】

- 荒井義明(荒井明商店)
- 角井聡一郎(角井地銅商店)
- 勅使河原孝行(テシ商店)
- 棚町祐次(IRユニバース)
- 山本健次